

農家で働く車

K360

マツダ

年式 昭和38年式

排気量 356cc

空冷V型2気筒エンジン



この軽三輪車は、広島の東洋工業（現マツダ）で1959年から1969年まで製作され、当時全国の農業、工業現場で活躍していた。

花のじゅうたんも元々は農家で、当時水田稲作作業で使っていた。ダイハツ ミゼット・三菱 レオなどの仲間がいて、各地を走りまわっており、K360をもじって、ケサブローの愛称で呼ばれていたものだ。



花の
じゅうたん®